



旅人たちの足跡残る悠久の石畳道——箱根八里で辿る遙かな江戸の旅路——

# 曰本遺產—箱根八里



# 箱根八里

箱根 - 三島

## 構成文化財

1 「箱根八里」構成文化財スポット
富士山眺望スポット
資料館・博物館
バス停
並木

「箱根八里」街道 東海道 有料・自動車専用道路 主要地方道・都道府県道 国道

◎ 地図内の絵は全て「東街便覧図略」(名古屋市博物館蔵)より  
「東街便覧図略」は、武士で文豪家兼画家の猪俣高(高利種信)が1786年(天明6)に  
名古屋城下から江戸へ旅した時の記録である。

## 鉄道路線図



## バス路線図



## 鉄道・路線バスお得情報

1日フリー 箱根旧街道・1号線きっぷ  
小田原駅～箱根町港間の箱根登山バス+  
小田原駅～小田急バス間の箱根登山電車乗り降り自由  
※小田原～箱根周辺の観光施設の優待・割引特典付  
大人1,750円/子供880円 Tel.0465-35-1201

1日フリー みしまるきっぷ(フリーきっぷ)  
三島市内～箱根峠間の路線バス  
1日乗り放題  
大人900円/子供450円 Tel.055-935-6611

2日間または3日間有効 箱根フリーバス  
小田急線往復(出発駅～小田原駅)+指定区内乗り降り自由  
(箱根登山電車・箱根登山バス・箱根ロープウェイ・東海バス・オレンジシャトル他)  
※箱根周辺の観光施設の優待・割引特典付  
大人4,600円/子供1,000円(2日間の場合)  
※小田原駅で、乗り物を乗り継いだ場合 小田急お客様センター Tel.03-3481-0066

## 箱根八里 お問い合わせ

箱根八里街道観光推進協議会  
〒411-8666 静岡県三島市北田町4番47号  
(三島市・産業文化部商工観光課)  
TEL:055-983-2656 FAX:055-983-2754  
E-mail:syoukou@city.mishima.shizuoka.jp

小田原市 経済部觀光課  
〒250-8555 神奈川県小田原市荻原300番地  
TEL:0465-33-1520 FAX:0465-33-1286  
E-mail:kanko@city.odawara.kanagawa.jp

箱根町 企画観光部觀光課  
〒250-0398 神奈川県足柄下郡箱根町湯本256番地  
TEL:0460-85-7410 FAX:0460-85-6815  
E-mail:web\_kankou@town.hakone.kanagawa.jp

三島市 産業文化部商工観光課  
〒411-8666 静岡県三島市北田町4番47号  
TEL:055-983-2656 FAX:055-983-2754  
E-mail:syoukou@city.mishima.shizuoka.jp



24 箱根旧街道の松並木

三島宿方面に西坂を下り、三島大社へ続く旧街道沿いに残る松並木。約1km続く松並木は現在の東海道ではなく、源頼朝に因む初音ヶ原の地名が残り、富士山の眺望地でもある。



20 笹原一里塚

旧街道の石畳を少し上った南側の高台に1基ある一里塚。現在の上には椎などの木があるが、江戸時代の記録では松が植えられたと記されている。



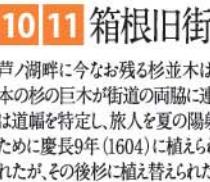
17 腰巻地区の石畠

腰巻地区的石畠の下からは中城の堀の跡が出土。山城の傍出丸(だいさきまる)の堀を一部埋め立てて街道を造ったとする。



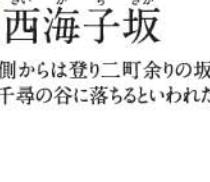
14 山中一里塚

旧街道の南側に1基ある一里塚。江戸時代の記録では塚の上には樹木はない記されている。



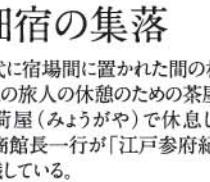
10 11 箱根旧街道の杉並木

青ノ洞跡に今なお残る杉並木は東海道唯一で、約400本の杉が街道の両脇に連なっている。街道の並木は道標を特定し、旅人や夏の雨宿りや風雪を守るために慶長年(1604)に植えられた。当時は松が植えられたが、その後杉に替えられたものと考えられている。



7 西海子坂

江戸側からは登二町余りの坂道。踏み間違えると千尋の谷に落ちるといわれた急坂。



4 畑宿の集落

江戸時代に宿場間に置かれた村のひとつ。箱根越の旅人の休憩のための茶屋があった。畠宿若荷屋(みょうや)で休息した大名やオランダ商館一行が「江戸参府紀行」などの記録に残している。



構成文化財



25 三嶋大社

伊豆国一宮として源頼朝はじめとした武家の崇敬を集めた。本殿・幣殿・拝殿が国の重要文化財に、境内にあるシモセイの古木は国の天然記念物に指定されている。宝物館には、国重文に指定された収蔵品が展示されている。



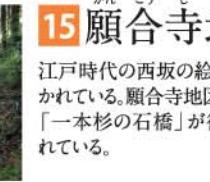
21 畑作地帯からの眺望

旧街道沿いの新田集落の人々は、明治になって農業を始めた。本殿・幣殿・拝殿が国の重要文化財に、境内にあるシモセイの古木は国の天然記念物に指定されている。宝物館には、国重文に指定された収蔵品が展示されている。



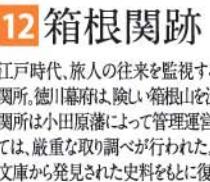
18 富士見平の眺望

江戸時代、東海道を通る旅人に広く知られた富士山の眺望地。当時多くの旅日記や絵画などに記録された。付近には、箱根越の時に詠んだとされる松の芭蕉の句碑が建てられている。



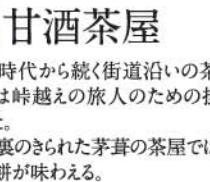
15 願合寺地区の石畠

江戸時代の西坂の絵図には6ヶ所の石橋が描かれている。願合寺地区に6ヶ所ある石橋のひとつ「一本杉の石橋」が往時のままの姿で保存されている。



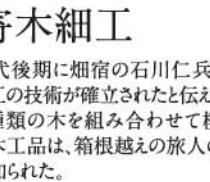
12 箱根関跡

江戸時代、旅人の往来を監視するため箱根に置かれた関所。徳川幕府は廻船(くわんせん)の荷役のため重視。関所は小田原藩によって管理運営され、特に「出女」に対する厳重な取り扱いが行われた。江川庵ゆかりの江川文庫から発見された史料を元に復元公開されている。



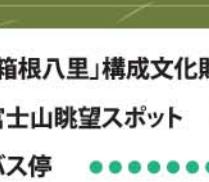
8 甘酒茶屋

江戸時代から続いた旅の茶店。かつて附近には咲えの旅人のための掛茶屋が複数あった。園内裏のけられた茅葺の茶屋では、名物の甘酒や力餅が味わえる。



5 寄木細工

江戸時代後期に箱根の石川仁・兵衛によって寄木細工の技術が確立されたと伝承されている。様々な種類の木を組み合わせて模様を作る寄木の木工品は、箱根越の旅人の土産物として広く知られる。



6 畑宿一里塚

江戸日本橋から23里目にあたる一里塚。直径約1メートルの円形の石積を築き小石を積み上げて土を盛って復元。塚の上には標識樹となる桜と桜が植えられた。箱根町には、湯本茶屋、畠宿の3ヶ所に一里塚があった。



26 鰻料理

三島宿の住人は古くから鰻を三嶋大社の神の使いとして保護。幕末に東海道を通した薩摩・長州の兵が鰻を食して神罰ひかれたことから食べられなくなったとされる。市内には「うなぎ横町」に加盟する鰻屋が多数営業している。



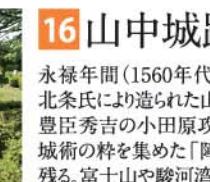
22 23 錦田一里塚

旧街道の両側に往時まつて対基残る一里塚は、錦田一里塚を含めて東海道では7ヶ所のみ。塚には現在樹があるが、江戸時代の記録によると、南側は桜、北側は松が植えられていたとされる。



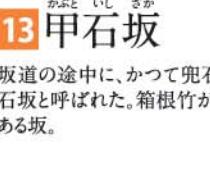
19 笹原地区の石畠

箱根新田は、東海道の整備とともに開かれた五つの新田集落のひとつ。このあたりまで崎道などをとる視界が開け、富士山や駿河湾が一望できる。



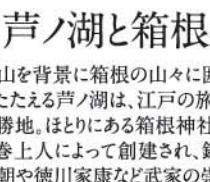
16 山中城跡

永禄年間(1560年代)小田原防衛のために、北条氏により造られた山城。天正18年(1590)に豊臣秀吉の小田原攻めにより落城。北条流築城術の粹を集めた「障子堀」と「戦掘」が今も残っている。



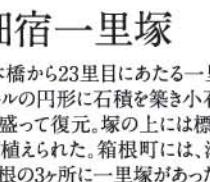
13 甲石坂

坂道の途中に、かつて兜石があったために甲石坂と呼ばれた。箱根竹が石畠道を覆う風情である。



9 芦ノ湖と箱根神社

富士山を背景に箱根の山々に囲まれて豊かな水をたてる芦ノ湖は、江戸の旅人たちが憧れの景勝地。ほど近くある箱根神社は、奈良時代に甲斐守が石垣を築いたとされる源頼朝や徳川家康など武家の崇敬を集めた。



6 畑宿一里塚

江戸日本橋から23里目にあたる一里塚。直径約1メートルの円形の石積を築き小石を積み上げて土を盛って復元。塚の上には標識樹となる桜と桜が植えられた。箱根町には、湯本茶屋、畠宿の3ヶ所に一里塚があった。

